

27年11月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成27年 11月1日～ 27年11月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
11月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/11月	12月	28/1月
入荷動向	国産材	10.0	0.0	△ 10.0
	外材	△ 10.0	0.0	△ 10.0
在庫動向	国産材	10.0	0.0	10.0
	外材	△ 40.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの入荷は11月の増加が、12月は横ばい、28年1月は減少。外材は11月の減少が、12月は横ばい、28年1月は再び減少。

・国産材ラミナの在庫は11月の増加が、12月は横ばい、28年1月は再び増加。外材は11月の大幅な減少が、12月、28年1月は横ばい。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月
国産材	10.0	△ 10.0	△ 10.0
欧州材	12.5	0.0	△ 12.5
その他	0.0	0.0	0.0

・国産材ラミナの価格は11月のやや強保合が、12月、28年1月はやや弱含み。欧州材は11月のやや強保合が、11月は横ばい、28年1月はやや弱保合。その他は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・スギ入荷は前月同様横ばい。カラマツの入荷は岩手県産ラミナの入荷で前月よりやや増加した。北海道産ラミナは順調に入荷。在庫はスギは横ばい、カラマツは前月よりやや増加傾向。
・外材は現地夏休みの船積遅れ分がまとまって入荷する。国産材は販売量に応じた調達量、外材は今月、消費量が多い予定。
・外材は調整したため入荷、在庫共に減。
・秋需の影響で少し荷動きは増加するが大きな伸びは期待薄い。在庫は年明けどこまで市況が活発さを維持できるかによる。

(ラミナ価格動向)

・スギは前月同様横ばい。カラマツは前月に北海道産を若干値下げしたが、横ばいである。岩手県産は横ばい。
・今月入荷分は為替の影響から若干上がる。
・欧州材の価格は比較的安定している。
・国産材の原木価格の上昇に伴い、少し値上がりする。ただし、製品単価は固定のままなので仕入れは無理せず、慎重に行われる見込み。ヒノキ、米ヒバ土台角は年内から来年1月位までは引合弱くないものの、価格反映に至るまでではない。大多数は維持。

27年11月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/11月	12月	28/1月
生産動向	国産材	16.7	8.3	0.0
	WW集成管柱	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	RW集成平角	12.5	0.0	△ 12.5
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	25.0	8.3	△ 8.3
	WW集成管柱	△ 25.0	△ 50.0	△ 50.0
	RW集成平角	25.0	16.7	0.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—

・国産材集成材の生産は11月、12月の増加が28年1月は横ばい。WW集成管柱は11月の横ばいが、12月、28年1月は減少。RW集成平角は11月の増加が、12月は横ばいとなり、28年1月は減少。米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。

・国産材の出荷は11月、12月の増加が、28年1月は減少。WW集成管柱は3ヵ月連続して減少。RW集成平角は11月、12月の増加から28年1月は横ばい。米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月
スギ集成管柱	0.0	△ 12.5	△ 25.0
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	25.0	25.0	25.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	0.0	25.0	0.0
RW集成平角	0.0	0.0	0.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	—	—	—
カラマツ集成平角	—	—	—

・スギ集成管柱の出荷は11月の横ばいが、12月、28年1月は弱含み。ヒノキ集成柱は3ヵ月連続して横ばい。ヒノキ集成土台は強含みで推移。

・カラマツ集成土台は3ヵ月連続して横ばい。

・WW集成管柱は11月の横ばいが、12月は強含み、28年1月は横ばい。RW集成平角及び米マツ集成平角は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

- ・生産は11月は荷動きが良くなって来ている。被災地の公共物件が多いが12月以降は天候状況もあり、横ばいからやや減少と見込まれる。出荷は10月後半より、ハウスメーカーや被災地の公共物件の荷動きが活発になっている。11月は平成27年度のピークとなる見込み。
- ・今月は生産量が多い。平角の出荷は先月より増加の予定。
- ・受注増加の傾向だが、先は分かりづらいため生産増も微増。非住宅の受注が増えている。

(構造用集成材出荷価格動向)

- ・スギは大手住宅メーカーの値下げ要請があったが、現状の価格からの値下げは不可能であったため、横ばいとなった。カラマツは、原材料の価格は引き続き横ばいで推移しており、製品価格も基本的には横ばい。値下げ要請は少なくなってきたが対応出来る状況にない。
- ・今月入荷分は為替の影響から若干上がる。スギ管柱は低基調、WW柱は値上げを唱えても良い雰囲気ではある。平角は現状維持となりそう。
- ・RWを少し上げたいが難しい状況。